



takeshita
hospital

竹下病院情報誌

2018年5月号 vol.65

ご自由にお持ち帰りください

竹っこ



日本医療機能評価機構



日本医療機能評価機構認定病院

平成21年2月16日 Ver.5.0 更新認定

(一般病院 審査体制区分1)

〔発行人〕竹下篤範 〔編集〕竹下病院広報委員会

〒780-0863 高知県高知市与力町3番8号 特定医療法人竹下会竹下病院

TEL088-822-2371 FAX088-822-2375 病院ホームページ www.takeshita-hp.jp/

就任のご挨拶



看護部長

菊池 文枝

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

このため、厚生労働省は高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

当院は、包括ケア病床を設けていますので、ここでの看護の役割を考えてみます。

入院は、患者さんにとって「時々入院、ほぼ在宅」といった人生の中の一期間です。病気だけに着目するのではなく、地域で暮らす人々である患者さんをどう支えるのかの視点を持ち、入院時から退院後の療養生活を見据えたケアの提供を多職種でしていかなければなりません。

入院前の生活やどのような状態になれば在宅生活が可能なのか、患者さん・ご家族の意向を確認しながら退院調整サービスが必要となってきます。

外来看護においても、入院せずに在宅生活が継続できるよう、看護相談、不安を和らげるサポート支援、社会資源の活用、在宅関連機関等との連携を密とした支援が必要だと考えています。

病院で働く看護職に求められることは、今までの「病院完結型医療」から「地域完結型医療」へとパラダイムシフト（変換）していくことを認識して支援することです。

「患者さんの生活がどうしたら豊かになるのかを考えてケアするのが“看護”ですよ」故日野原重明医師の声が聞こえてきそうです。

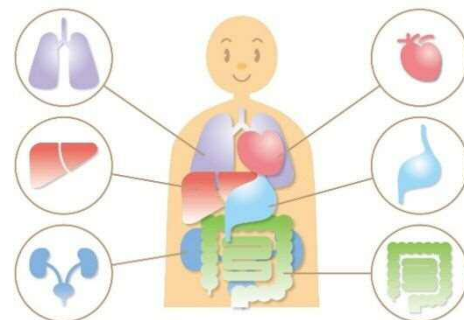
私は、今年の四月に入職いたしました。新築病院、電子カルテ導入とハード面が整備されており、心が躍る日々です。

今年度の病院のテーマであります「進歩と成長」を旨に「気づかい」をともなった看護、職場を目指していきたいと考えています。

皆さん、よろしくお願いいたします。



春は健診シーズンです。新年度のはじまりということで、そろそろ職場で健診のお知らせを受け取った方も多いのではないのでしょうか。今回は、健診の歴史についてお話したいと思います。



■「健診」とは!?

健康診断(健康診査)のことを意味し、診察および各種の検査で健康状態を評価することで、生活習慣病をはじめ、さまざまな病気の早期発見・早期治療はもちろん、病気そのものを予防することを目的に行っています。

健診は予防医学の「一次予防」にあたります。法律により国から義務付けられている健診(学校健診、職場健診、特定健診)と、個人の意思により受ける健診(人間ドック)があります。

■イギリス生まれ!?

世界初の健康診断は、約 150 年前にイギリスで行われたそうです。健康と思われる一般人や会社の従業員の健康状態を調べる制度は、その後アメリカを経て世界各国の企業へと広がっていきました。日本で企業の健診がスタートしたのは、明治 44(1911)年に公布された工場法がきっかけのようです。目的は国民病であった結核対策でした。ちなみに日本の本格的な健康診断制度は、明治 11(1878)年の児童の発育検査が始まりといわれています。

■あの有名な人物も健診にひっかかっていた!?

慶応元年(1865 年)に松本良順という幕府の典医が、新撰組隊士 170 数名に健康診断を行ったという記録が残されています。当時、新撰組は西本願寺に屯所を移していましたが、70 名以上が病気と診断されています。病気の 1 位が風邪、2 位が食あたり、3 位が梅毒でしたが、肺結核と診断された患者が 1 名いました。その患者は、沖田総司だったといわれています。

■7月12日は「人間ドックの日」!?

昭和 29(1954)年 7 月 12 日に国立東京第一病院(現:国立国際医療研究センター)で初めて人間ドックが実施されました。昭和 40 年代に入ると、国民病は結核からがんや成人病へと変化していきます。人間ドックやがん検診でがんの早期発見、健康診断は生活習慣病予防と、その役割が大きく変化してきます。

■新しい健診制度のスタート!?

平成 20(2008)年 4 月から特定健診・特定保健指導という新しい医療制度が始まりました。この制度は 40~74 歳の医療保険加入者を対象として、メタボリックシンドロームの早期発見を目的とした健診を行い、その結果メタボリックシンドローム、あるいはその予備軍と判定された人に、保健指導を実施することを義務付けたものです。

❁竹下病院では一年を通して健康診断の受付をしております。健診により自分の体の状態がわかれば、生活を見直すきっかけとなります。健康維持のために、年に 1 回は健診を受けることをおすすめします(o^^o)



ヨハン・ネポムク・フンメル (1778～1837) はスロヴァキア出身の作曲家、ピアニストです。時代的には丁度、古典派からロマン派への移行期に活躍した音楽家です。現在は「トランペット協奏曲」が時に演奏されるくらいで、あまり知られていませんが、当時はヨーロッパ最高の作曲家、ピアニストの一人として有名でした。子供の頃から音楽的才能を発揮し、神童と言われていましたが、8才の時にモーツァルトに師事して2年間ピアノの勉強をしています。ゲーテ、ハイドン、ベートーベンやシューベルト、メンデルスゾーン、ツェルニー、ショパンなどとも交流があり、ウィーンやゲーテのいるドイツのワイマールで活躍しました。シューマン (1810～1856) とは 32 才違いですが、



(左図フンメル肖像)

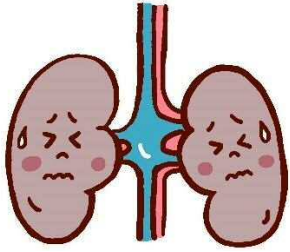
シューマンが音楽家になると決めた時に、まず弟子入りを望んだのは彼が高く評価していたフンメルでした。1828年3月にライプツィヒ大学

法科に入学したシューマンでしたが、興味があったのは文学と音楽であり、その8月、後に義理の父となるピアノ教師のヴィークにピアノを習いはじめます。シューマンはめきめき腕をあげ、フンメルの「練習曲」や「ピアノ協奏曲第2番」を演奏するまでに進歩しています。またシューマンはフンメルの「ピアノソナタ第5番作品85」にインスピレーションをうけ、1833年に「トッカータ ハ長調 作品7」を完成しました。その前年に作曲された「アレグロ ロ短調 作品8」も同様に、いずれの曲もフンメルのソナタの主題や動機を引用している作品です。さらに、未完成とはなりましたが、ピアノ協奏曲へ長調の第1楽章提示部のピアノ独奏

パートをフンメルに送付して指導を仰いでいますし、完成の暁にはフンメルに献呈するつもりだったようです。

シューマンは音楽批評家としても活躍していたことはご存じの通りです。彼の批評は後にまとめられて、本邦ではその一部が岩波文庫から「音楽と音楽家」というタイトルで出版されています。1831年12月の「一般音楽新聞」にショパンの作品を賞賛した記事、そう、「諸君、脱帽せよ、天才だ。」といったあの記事が、この本の最初に掲載されていますが、その次には「フンメル ピアノ練習曲 作品125」について批評した記事が載っています。彼は、「今度の練習曲が、大体どれも見事に処理された完成品であることや、・・・円熟した大家の筆から生まれた作品であるという感の深いことなどは、誰しも否定できない。けれどもその中には、青年を魅惑して、自分のものにするまでの苦しい努力を忘れさすような作品の美しさ、つまり幻想の魅力がまるでない。」と批判しています。シューマンは練習曲に対しても独自の考えを持っており、パガニーニのヴァイオリン独奏曲である「24の奇想曲 作品1」によるピアノ用の練習曲や、「少年のためのアルバム 作品68」をはじめ、多くの子供のためのピアノ曲を作曲しています。練習曲も単なる指の訓練ではなく、楽しく、想像力をかき立てるもので無くてはならないと。





外来便り

「慢性腎臓病」

外来 看護師 岡本 美知

新しい国民病として慢性腎臓病（CKD：chronic kidney disease）が注目されています。

慢性腎臓病とはひとつの病気を指すのではなく、腎臓の働きが低下したり、腎臓に障害（蛋白尿・血尿）が起こった状態の総称です。慢性腎臓病は透析予備軍であり、腎機能を低下させる最も大きな要因の「生活習慣病の増加」により患者さんが増えていると言われています。

慢性腎臓病の危険因子には糖尿病（糖尿病性腎症）・高血圧・肥満・メタボリックシンドローム・脂質異常症・高尿酸血症・加齢・喫煙などがあります。

慢性腎臓病は初期の段階では自覚症状がほと

んどありません。かなり進行して初めて症状が現れます。塩分や水分の調節がうまくいかなくなり体内に溜まるとむくみや心不全の症状である動悸・息切れなどが起こってきます。体内に有害な老廃物が溜まるとだるさ・食欲不振・吐き気・手脚のしびれなどの症状も起こります。また腎臓は赤血球を増やすホルモンを作ったり、カルシウムの吸収やリンの排泄に関わる調節も行っています。そのため慢性腎臓病が進むと貧血や骨の異常といった症状も現れてきます。

慢性腎臓病の早期発見のため血液検査（血清クレアチニン値）尿検査を毎年受けることが大切です。

新骨密度測定装置を
設置しました

放射線科 野村 幹行



骨の元気度を 調べてみませんか？

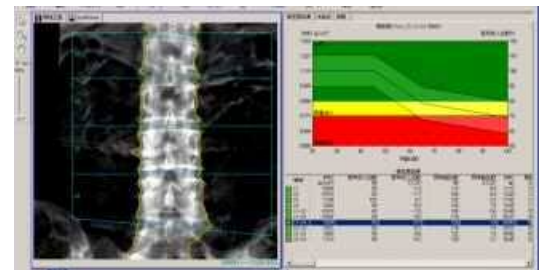
骨密度の測定は、骨粗しょう症や骨折のリスクを判定するのに役立ちます。

二重 X 線吸収法（DXA 法）は、信頼度が高い骨密度測定方法といわれています。

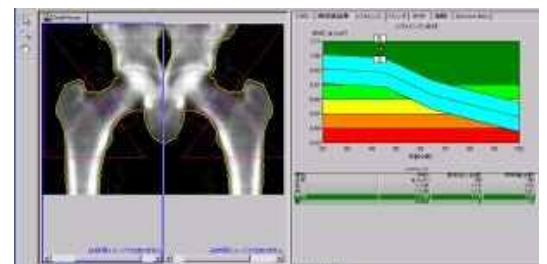
- 測定は約 10 分以内で痛みもありません
- お気軽に当院スタッフまでお申し付け
ください



[腰椎]



[大腿骨]





4月1日（日）恒例のお花見に行ってきました。

昨年は開花が遅く1分咲きの鏡野公園へ、今年こそはと期待したものの高知城のソメイヨシノは3月15日全国トップを切って開花。その後も最高気温が平年より高い日が続きつぼみが一気に開き、19日には高知の桜満開！日本最速更新！「もう桜は散ってないで」との声もありましたが、開花以降も風の弱い好天に恵まれ見どころがく続いていたので期待を胸に当日を迎えました。

バスと車4台に分かれ、患者さん（家族含め）20名、院先生、入口先生、竹下実希先生、スタッフ18名、運転手小笠原さん、小松さん、井出さんの44名の参加で9:45分病院出発。

バスの中では、リンやカリウムについて○×クイズをしながら、時には真剣に時には笑いありとバスは国道195号バイパス「あけぼの街道」を進み、10:40分鏡野公園到着。

桜は散り始めてはいましたが、大勢の家族連れで賑わっていました。早速屋台を回ったり自由に散策した後はシートを囲んで皆でお弁当を頂きました。

時折吹く風に花びらが舞い「わー綺麗」と歓声が上がリ、桜吹雪でブルーシートが映えていました。「来て良かったね」「美味しいね」と満面の笑顔が素敵で、思わず歌を唄い皆のアイドルなった患者さんも。自然と皆も手拍子で桜に負けないくらいの笑顔が満開でした。

帰りのバスでは歌を唄ったり、院先生の桜の由来についてのお話を聞きながらあっという間に無事病院到着。「楽しかったね」「また来年も行きたいね」と笑顔が輝く交流会となりました。皆さん本当にお疲れ様でした。

①

① 桜餅を包んでいる葉の多くは大島桜（オオシマザクラ）の葉で、毛がなく芳香成分が多い為、使われているそうです。つまり「いい香り～」なんですね。お弁当にも桜餅が入っていましたね。美味しく頂きました。

②

② 御衣黄桜（ギョイコウザクラ）
ソメイヨシノが散った後4月中旬から下旬頃咲く桜で、開花したばかりの花は淡い緑色、徐々に黄色に変化していき、やがて花びらの中心部が赤くなっていくのが特徴で鏡の公園も開花していました。花言葉は「永遠の愛」「優美」「心の平安」控えめで気品のある花のイメージにぴったりの花言葉です。